

## 【99】建造物保存修理(一般)(拡充)

平成20年度概算要求額:6,500百万円

(平成19年度予算額:3,956百万円)

事業開始年度:平成20年度

事業達成年度:平成24年度

### 主管課

参事官(建造物担当)(参事官:荻谷 勇雅)

### 関係課

### 事業の概要

平成19年8月1日現在、2,317件の国宝・重要文化財建造物があり、その多くは経年等により破損が進行し早急な修理を必要としている状況にある。国宝・重要文化財(建造物)の保存は適切な周期で、修理を繰り返し実施する必要がある。時宜を得た修理を実施することによりその適切な保存と活用を図り、国民生活の文化的向上に寄与することを目的とする。

文化財建造物の修理は、建物を部材単位に解体し、補修後また組立直す根本修理と屋根葺替、塗装などの維持修理に分類できる。建物の破損状況に応じて適切な修理を実施する。

### 必要性

我が国には木造として世界最古の法隆寺金堂をはじめ、数多くの木造建造物が保存されている。これは建物が良質な材料を使用し、かつ優れた施工技術で建てられただけでなく、各時代のたゆまない保存管理のたまものである。

文化財建造物の保存は、適切な周期、適切な材料、適切な技術で修理を繰り返すことが必要であり、適切な周期で保存修理を実施しないと文化財としての価値を大きく損なうこととなる。

しかしながら、現状では適切な周期による保存修理ができない状況であり、我が国の貴重な文化財を次世代に確実に継承するためには、建造物保存修理予算の拡充が必要である。

文化財建造物の修理は多額の経費を要するため、所有者負担は極めて重い。所有者には檀家や信者等が少ない社寺や年金生活の民家所有者等も多く、修理についてこれ以上の所有者負担を求めることは難しい。

また、都道府県・市町村による所有者への修理経費支援(随伴補助)も、地方財政の縮小により困難となっている。さらに、本事業は、災害の復旧修理事業にも対応しているが、近年、地震・台風・大雨等の災害が多発していることから、国費負担の迅速な充実が必要不可欠である。

なお、「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第2次基本方針)」(平成19年2月9日閣議決定)において、文化財建造物等の有形の文化財について、「その種別や特性に応じて計画的に保存・修復を進める」ことを基本施策として定めている。

### 効率性

(インプット)

- ・ 国宝・重要文化財建造物の保存修理事業の実施

(アウトプット)

- ・ 我が国の貴重な文化財の次世代への継承

(アウトカム)

- ・ 我が国の歴史・文化を学び、国民生活の文化的向上に寄与

## 有効性

(施策目標)

施策目標8 - 2 文化財の次世代への継承・発展

(得ようとする効果及びその達成見込み)

平成19年度においては、各都道府県から約200件の保存修理の要望があるが、現状では85件について事業採択しているのみである。建造物保存修理予算を拡充することにより、危機に瀕している文化財の保存を図り、適切な周期による保存修理が可能となる体制を構築する。併せて当該建造物の積極的な公開・活用に資する。

(事業開始時に想定した効果及び18年度までに得られた効果)

明治30年以来平成18年度までに約2,300棟の根本修理が実施され、国宝・重要文化財建造物の保存に努めている。

## 公平性、優先性

事業の採択にあたっては、文化財建造物の毀損状況のほか、文化財所有者・管理団体の補助事業者や都道府県・市町村等の財政力及び事業体制等を十分考慮して行うこととする。

## 18年度実績評価結果との関係

18年度は実績評価の対象としていない。

## 広報計画

特になし

## 備考

特になし

# 重要文化財建造物の保存と修理

## 修理周期を適切な150年周期へ！

わが国には木造として世界最古の法隆寺金堂をはじめ、数多くの木造建造物が保存されている。これは建物が良質な材料を使用し、かつ優れた施工技術で建てられただけでなく、各時代のたゆまない保存管理のたまものである。



国宝法隆寺金堂・五重塔



国宝厳島神社社殿

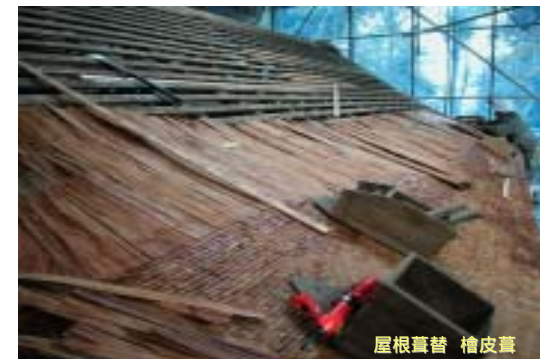
木造文化財の保存 = 適切な周期で  
保存修理の繰り返し

維持修理(屋根葺替・塗装修理): 平均30年周期

根本修理(解体、半解体修理): 平均150年周期



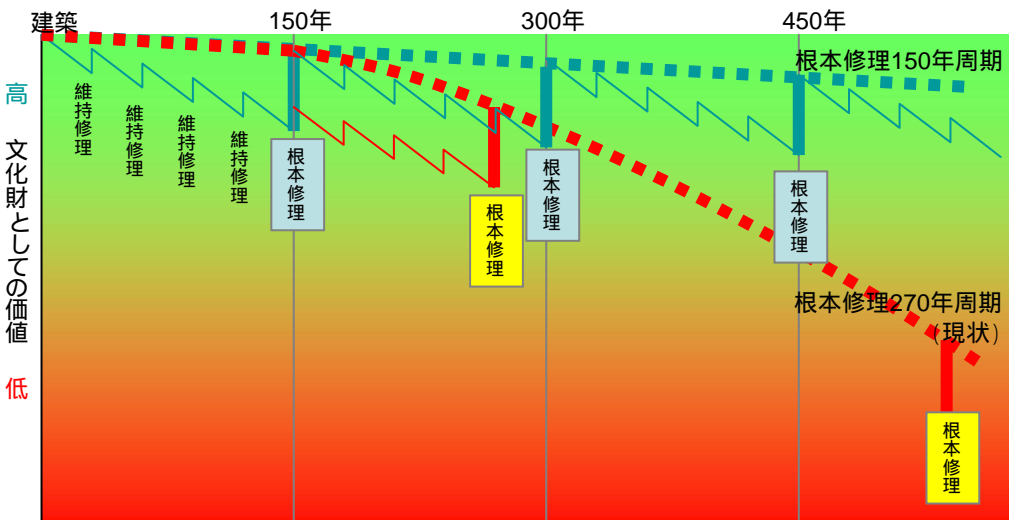
解体修理 唐招提寺金堂



屋根葺替 檜皮葺

現状 適切な周期の二倍(半分のペース)であり、保存が憂慮される

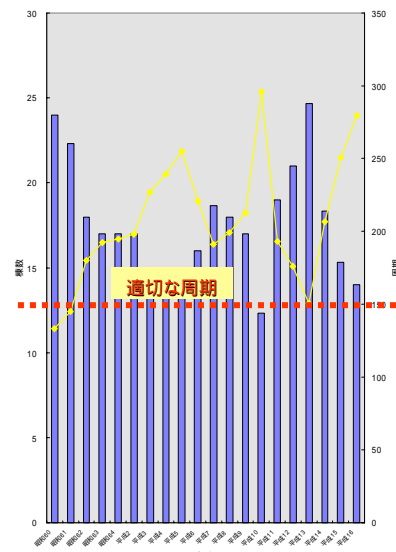
根本修理の周期差による文化財的価値の変化比較図



適切な周期で保存修理を実施しないと文化財としての価値を大きく減ずることとなる。

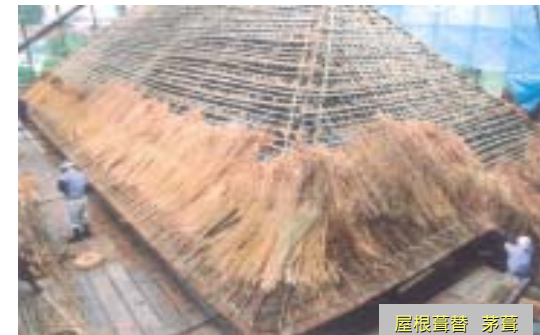
青波線：適切な周期 赤波線：適切な周期の2倍の周期（現状がこの状態）

年度別竣工件数と修理周期



現状は適切な周期の2倍

■ 根本修理実施棟数  
● 根本修理周期



屋根葺替 茅葺



塗装修理